

地区だより

…………… 令和5年9月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 18,854人 女 20,340人
計 39,194人
世帯数：20,905世帯
(8月1日現在)

2023

9月号

市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課
〒960-8601 福島市五老内町3-1
☎525-3710 ☎536-9828

個性と魅力あふれる地域を目指します

～ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会(中央東地区)を開催～

地域の活動指針として策定した「ふくしま共創のまちづくり計画」を推進し、中央東地区が個性と魅力あふれる地域となることを目指して、懇談会を開催しました。

中央東地区の5つの方部から、地域で活躍している方々が集まり、懇談会が主催する事業の方針や、地域コミュニティ等支援事業(市補助金)の活用を予定する団体の事業内容の確認などを行いました。

■問/地域共創課 ☎525-3731



▲7月21日にキョウワグループ・テルサホールで開催した第1回懇談会

懇談会の主催事業 ～花によるおもてなし事業～

例年当懇談会の主催事業として実施している「花によるおもてなし事業」は、今年度も開催予定です。

花によるおもてなし事業は、来訪する方をきれいな花で出迎えるため、市民ボランティアの皆さんと協力しながら、プランターへ花の植栽を行い、レンガ通りや駅前通り沿いの事業所の皆さんに、プランターの管理をお願いする事業です。



▲昨年度開催の様子

※中央西地区の懇談会は8月に開催しました。
開催結果は、地区だより10月号でお知らせ予定です。

活用予定の事業(地域コミュニティ支援事業)

活用を希望する団体	事業名	内容
第一方部民生児童委員協議会	民生委員活動PR事業	・広報用チラシの配布 ・主に高齢者宅への訪問活動
福島市消費者団体懇談会	植栽事業	・プランターへの花苗植栽と管理
新浜町会	子どもの見守り活動	・児童、生徒の帰宅時間帯に交差点での見守り活動
御山町町会	地域の魅力再発見事業	・親子を対象に信夫山散策と会社見学

地域コミュニティ等支援事業は地域内の各団体に広く活用されています。
上記以外に活用を予定している事業についても、当該懇談会の承認を受けたのちお知らせします。

地区内の工事情報

工事箇所	路線名	工事種別	予定工期		備考	担当課
			着工	完了		
御山町外地内	市道 太平寺・山口線	道路改良工事	令和5年 9月下旬	令和6年 3月下旬	午前9時～午後5時 車両車線規制および 一部車両通行止め	道路建設課
五老内町地内	市道 浜田町・春日町線	道路改良工事	令和5年 9月下旬	令和6年 3月下旬	午前9時～午後5時 幅員減少	道路建設課

中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ☎533-7592

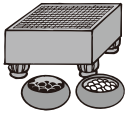
第24回中央地区囲碁大会 参加者募集

今年度も「中央地区囲碁大会」を開催します。中央地区の囲碁愛好者の皆さん！子どもから大人まで、一緒に楽しく碁を打ちながら交流を深めましょう！

- 日時 9月30日(土) 午前9時～午後1時20分頃(終了予定)
- 場所 中央学習センター 2階ホール
- 対象者 中央地区在住・在勤・在学の小学生から一般成人の囲碁愛好者
- 定員 20名程度(先着順)
- 試合方法 段級位ごとに2(A・B)クラスに分け、手合割により3局を実施します。(1クラス10名程度)
- 表彰 クラスごとに第1位～3位までを表彰
- 参加費 500円
- 準備物 飲み物等各自必要物
- 申込方法 9月4日(月)から15日(金)までの間に、掲載のQRコードよりオンライン申し込み、または中央学習センター窓口・電話のいずれかによりお申し込みください。
※オンラインまたは電話で申し込まれた際は、9月22日(金)までに参加費を中央学習センター窓口までご持参ください。



【QRコード】



ふくしまエール川柳 あなたも応募してみませんか？

川柳作品を募集します！
川柳をつくって応募してみませんか？

- 募集期日 10月30日(月)まで
- テーマ 「自由吟」と「課題吟」の募集(両方の応募も可)
課題吟のお題は「健康」「マラソン」



- 応募方法
 - ①かんたん申請・申込システム
右のQRコードにアクセスして申込
 - ②学習センター備え付けの投句用紙に必要事項を記入し、窓口まで持参
※応募は自由吟、課題吟それぞれ1人3句以内とし、応募者本人が作成した未発表のものに限る



【HP QRコード】

自宅にいながら川柳を学べる!?
「福島エール川柳動画講座」配信中
こちら併せてチェック ⇒



シニア向けスマートフォン利活用支援講座

日常生活に役立つスマートフォンの活用について学ぶ講座とスマートフォンの便利さや楽しさを学ぶ講座を開催します。サポーターがきめ細かくサポートしますので、お気軽にご参加ください。

	日時	講座内容	講師
①スマホ活用講座	9月25日(月) 13:30～15:00	スマートフォンにアプリを追加する方法 やおすすめアプリの説明	ドコモショップのスタッフ
②入門体験講座	9月28日(木) 13:30～15:00	スマートフォンの基本操作(画面操作や 文字入力の方法など)	ソフトバンクスマホアドバイザー

- 場所 中央学習センター
- 定員 各回10名(先着順)
- 対象 ①市内居住の高齢者の方でスマホの基本操作ができる方
②市内居住の高齢者の方でスマホの使い方に不慣れな方
- 申込み オンライン(右記QRより)又はコールセンター090-1373-1667、090-1373-1668へ電話
- その他 ご自身のスマホを持参ください(9/28は貸出機での受講となります)



【HP QRコード】

学びの轍 ～つどい・まなび・むすび・いかす、中央学習センターを未来へ～

持続可能な社会を再構築していくために

福島市第7次生涯学習振興計画より

I 多様な学びによる人づくりの推進

- 1 市民の多様なニーズに応じた学習機会の充実
- 2 ライフステージ、ライフサイクルに応じた学習の充実
- 3 社会情勢の変化に対応した学習の推進
- 4 学ぶにあたり配慮が必要な人への支援
- 5 図書館サービスの充実と読書活動の推進

II 市民の共創による持続可能な地域づくりの推進

- 1 持続可能な地域づくりに向けた支援
- 2 地域と学校の共創の推進

III 学びを支える体制と環境の充実

- 1 生涯学習推進体制の充実
- 2 多様な主体との共創の推進
- 3 学びの土台となる施設、学習環境の整備

戦後日本の再生と地域の民主化を図るため誕生した公民館は、「生活そのものの向上を図るための教育・学術・文化事業を行う地域の拠点」として設置されました。その後、高度経済成長期や都市化、産業構造の変化、平成の大合併を経て、地域を取り巻く問題は複雑化、多様化した結果、人口減少社会を迎える中で、人と人のつながりの重要性が再認識される結果となりました。

将来の地域を担う人材を育成し、地域の自然や歴史、文化を活かしながら、学びを通じ、ふれあいと生きがいに満ちた魅力ある生涯学習社会を実現させることによって、地域を元気にしていく、持続可能な社会を再構築していくための拠点施設の役割が学習センターに求められています。

福島市の生涯学習は、市民センターの完成を契機に新たなステージへ移行します。中央学習センターの今後の取り組みにどうぞご期待ください。

新館トピックス

- ・1Fエントランスには、デジタルサイネージなどが設置されます。
- ・共生社会実現に向けた交流スペースやカフェも設置予定です。



学習センターの窓口時間は、火曜日・祝日を除く午前9時から午後5時45分までです。